

資料5

日本貨物鉄道株式会社

会社概要データ

2024年4月現在

国鉄改革で誕生した全国ネットワークで貨物鉄道輸送を行っている唯一の事業体

名 称	日本貨物鉄道株式会社 (Japan Freight Railway Company)
設 立	1987年(昭和62年)4月1日
資 本 金	190 億円
株 主	独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構

営業キロ	75線区 7,805.5 km (基本的に第二種鉄道事業者 6旅客会社の線路を借りて運行)
貨 物 駅	237 駅
列車本数	399 本 (コンテナ 332 本 車扱 67本) / 日
列車キロ	18.6 万km / 日
車 両 数	機 関 車 525 両 貨物電車 42 両 貨 車 7,091 両
コンテナ	62,153 個
社 員 数	5,637人 (発足時 12,005人)

経営成績	(2023年度・連結)
営業収益	1,885 億円
経常利益	△42 億円
輸 送 量	2,652万トン コンテナ 1,810 万トン 車 扱 841 万トン
輸送トンキロ	175 億トンキロ

全国を結ぶネットワーク



貨物鉄道輸送の特性

中長距離

大量性

定時性

一日あたりの貨物列車走行距離 約 186,000 km
(地球 約 5 周分)
2023年度定時運行率（全列車）：90.3%

鉄道の平均輸送距離	コンテナ	約 900 km
	車 扱	約 150 km

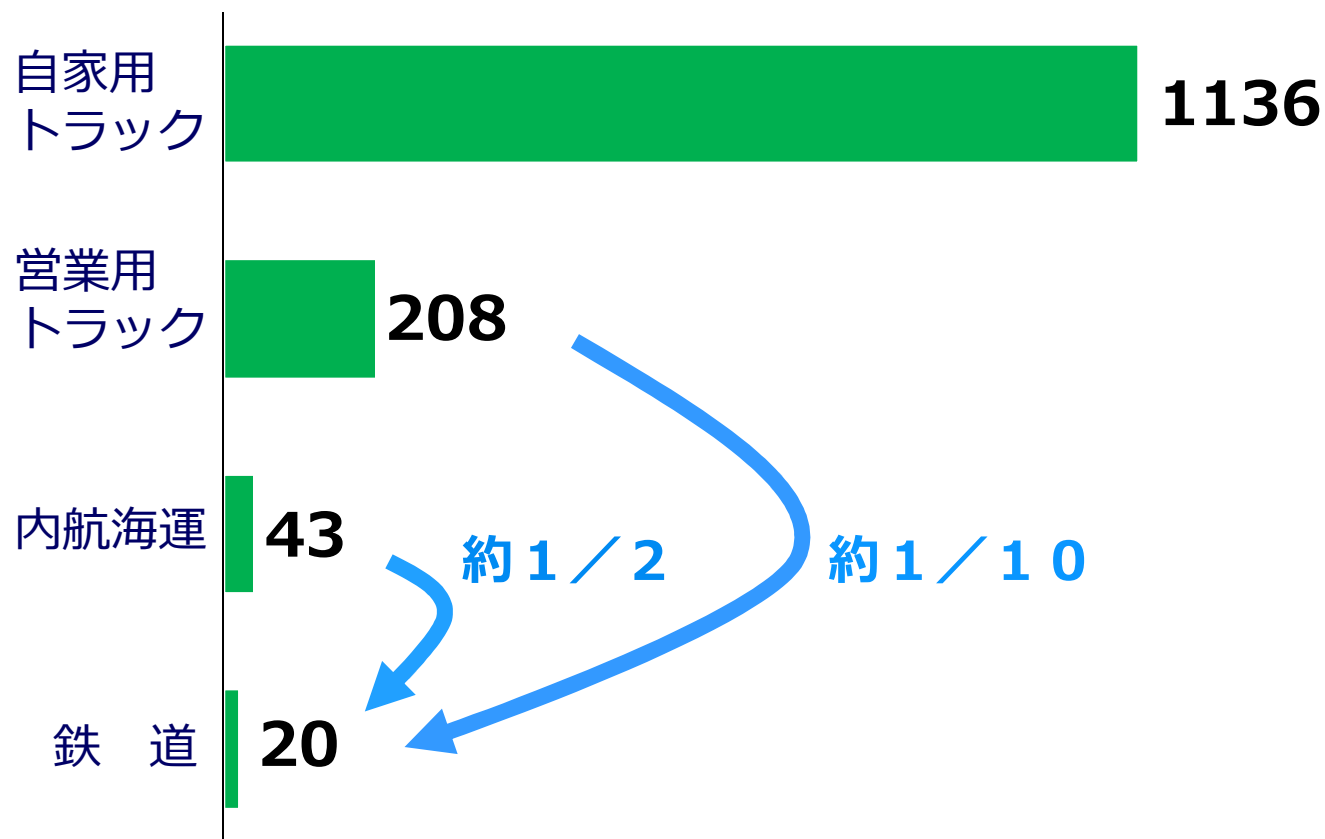
貨物列車の輸送能力 **1編成あたり 650トン（26両編成）**
～ 貨物列車1編成で、10tトラック65台分の輸送に相当～

日本で最も長い距離を走る列車
札幌貨物ターミナル駅 ⇔ 福岡貨物ターミナル駅 間
～ 2, 140Kmを37時間で結んでいます ～



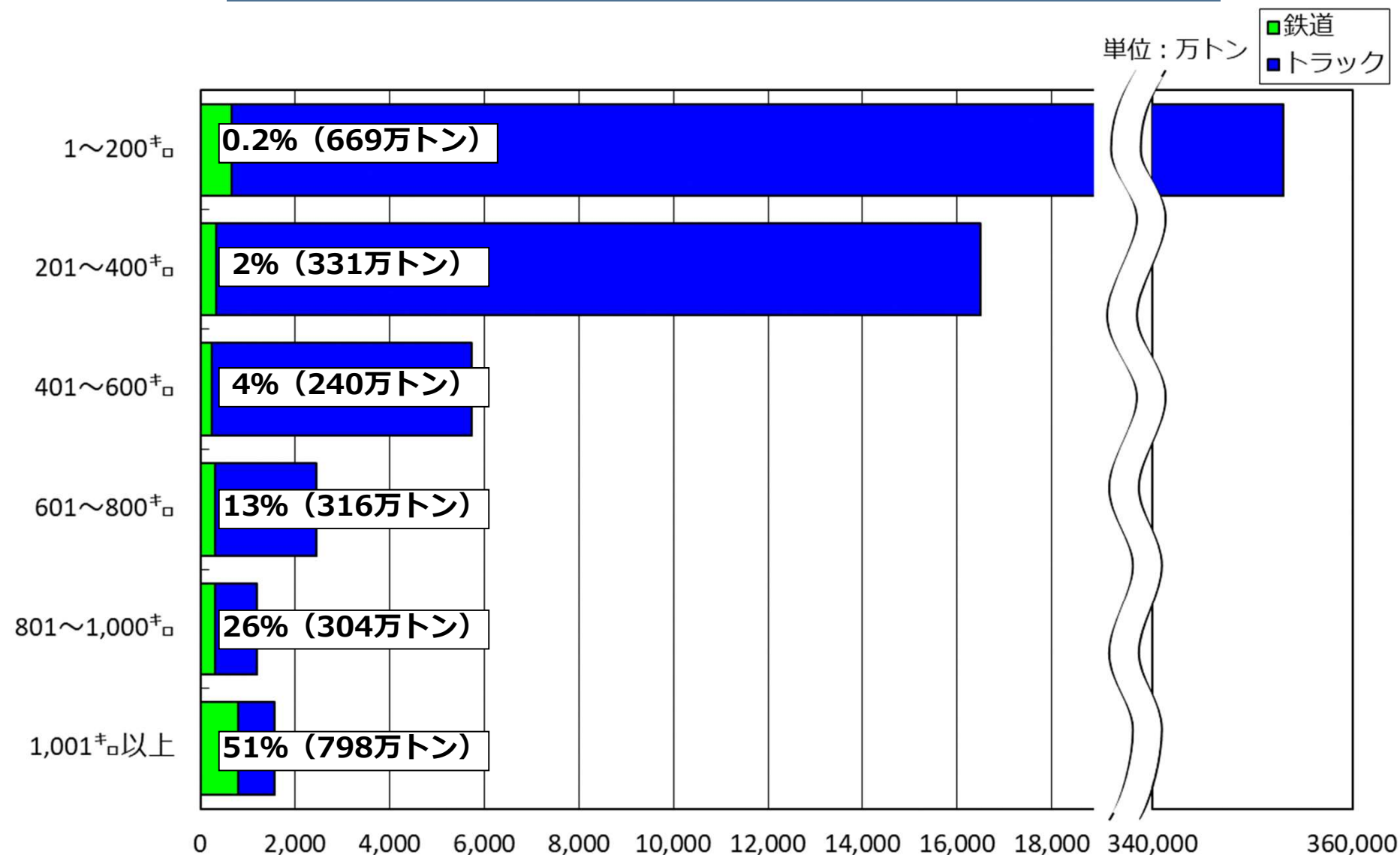
環境にやさしい貨物鉄道輸送

鉄道のCO₂排出量は、営業用トラックの約 1 / 10、内航海運の約 1 / 2 となっており、環境にやさしい輸送モード。

輸送機関別のCO₂排出原単位（2022年度）

(注) 単位：g-CO₂/トンキロ （1トンの貨物を1km輸送する際に排出されるCO₂量）
出典：国土交通省

陸上貨物輸送の距離帯別シェア（2022年度）



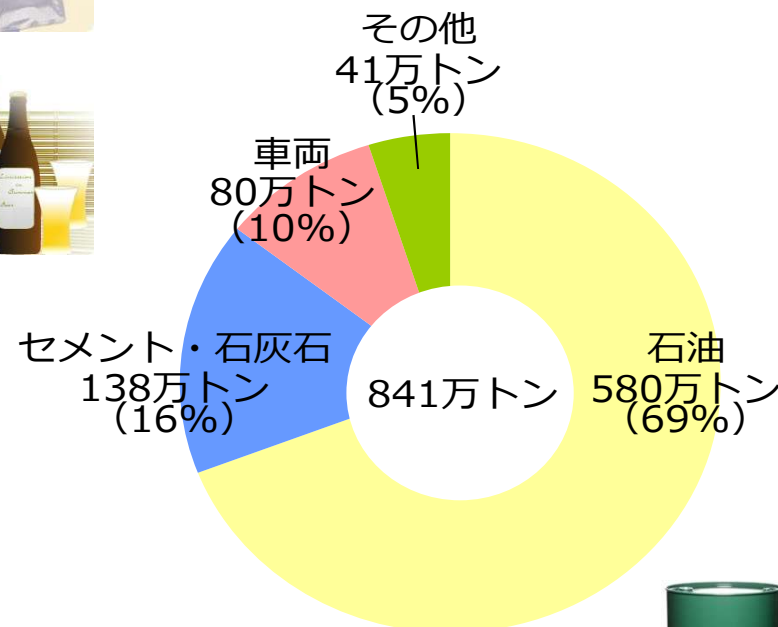
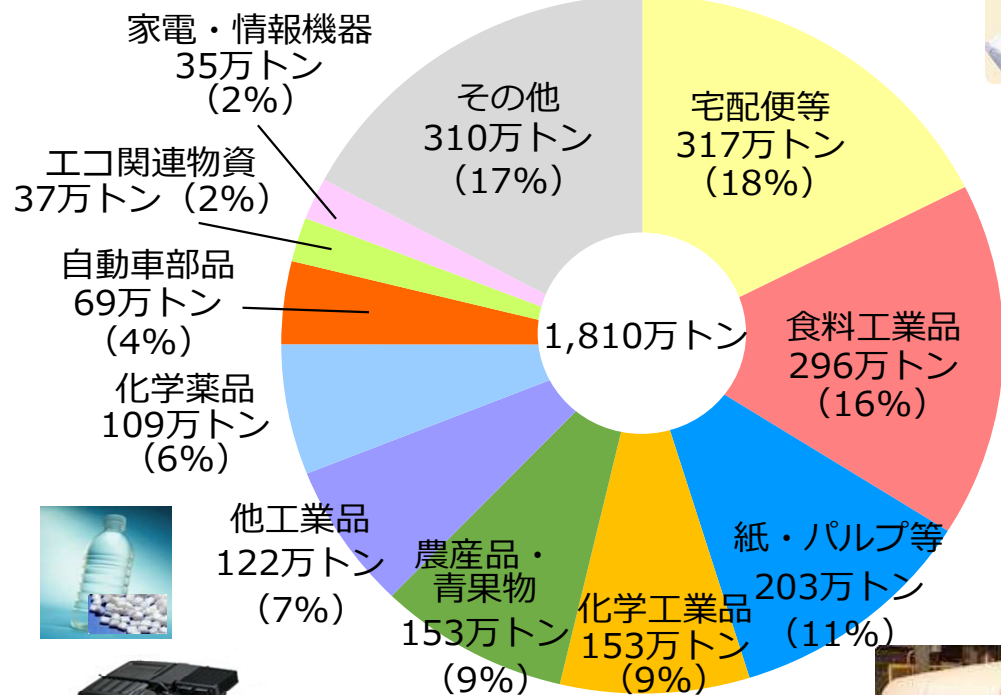
注）トラックについては貨物地域流動調査による（含む域内流動）

J R 貨物が全国に運んでいる物資 (2023年度)

コンテナ



車 扱



(注) ・輸送量は単位未満切り捨てのため、合計値とは異なる。
・割合は四捨五入で表記している。